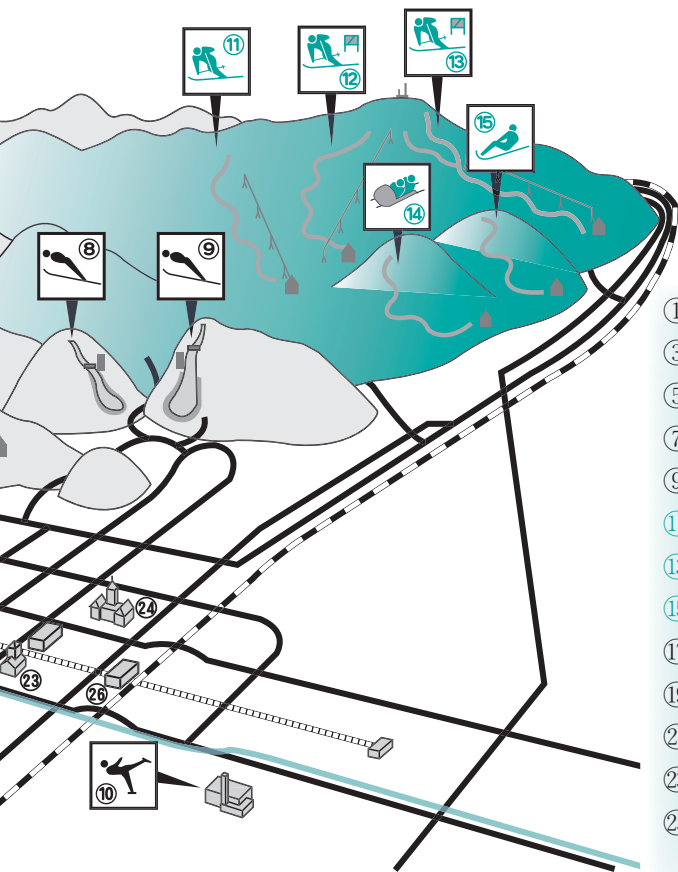


ンピック札幌大会

月、アジア初のオリンピック冬季大会がアルペンの回転・大回転競技、ボブスレ連日手稲の街は熱気と興奮に包まれてい

時を振り返り、我がふるさと『手稲』の

手稲山



- ① 恵庭岳滑降競技場
- ② 真駒内距離競技場
- ③ 真駒内バイアスロン競技場
- ④ 月寒屋内スケート競技場
- ⑤ 真駒内スピード・スケート競技場
- ⑥ 真駒内屋内スケート競技場
- ⑦ 藤野リュージュ競技場（予備コース）
- ⑧ 宮の森ジャンプ競技場
- ⑨ 大倉山ジャンプ競技場
- ⑩ 美香保屋内スケート競技場
- ⑪ 手稲山回転競技場
- ⑫ 手稲山女子大回転競技場
- ⑬ 手稲山男子大回転競技場
- ⑭ 手稲山ボブスレー競技場
- ⑮ 手稲山リュージュ競技場
- ⑯ 支笏湖
- ⑰ 高速軌道真駒内駅舎
- ⑱ オリピック村
- ⑲ 豊平川
- ⑳ 創成川
- ㉑ テレビ塔
- ㉒ 札幌市庁舎
- ㉓ 時計台
- ㉔ 北海道庁
- ㉕ 藻岩山ロープウェイ
- ㉖ 国鉄札幌駅

▲当時の様子が伝わってきます



※名称は当時のもの

●アジア初の開催

冬季オリンピックは、昭和三十七年に正式な招致運動を始めてから、開催まで実に十年。招致に四年、準備に六年を費やしています。この間、第十回大会（昭和四十三年）では、立候補したものの準備不足などから、フランスのグルノーブル市に負けてしまいました。当時、国際的にはほとんど無名の札幌が、根強く地道な努力を積み重ねた結果、『SAPPORO』の名を世界に響かせ、第十一回大会の開催決定を勝ち取ったのです。冬季オリンピックとしては、アジア初の快挙でした。

●科学技術の進歩

また、人口が百万を超える大都市での開催も史上初です。この大会は、「テレビ・オリンピック」ともいわれました。本大会の模様がすべてカラー映像で、衛生中継により毎日全世界に送られたのも史上初めてでした。

また、今では当たり前ですが、各種の記録がデータ通信システムで速やかに処理されたことや、ジャンプ競技の飛距離を正確かつ瞬時に計測する研究が行われ、実用化にめどを付けたことなど、科学技術の進歩を示した大会となり